

令和6年度事業報告

令和6年度は、「神戸市域の農漁業および里山・農村地域の活性化に資する事業を実施することにより、市民福祉の向上と市域農漁業および里山・農村地域の発展に寄与する。」という定款の目的、神戸市から示された外郭団体のミッション及びミッションを踏まえた経営改革プランに基づき、各事業に取り組んだ。

具体的には、持続可能な農業の振興や農村定住環境の整備、里山・農村地域活性化事業や、栽培漁業センターでの豊かな海を育てる漁業の推進のため、種苗生産や中間育成の実施および、新たな魚種の養殖の検討・飼育技術の向上を行うほか、六甲山牧場、平磯海づり公園の指定管理事業や、フルーツ・フラワーパーク、神戸ワイナリー（農業公園）、神戸市西部域漁港等の管理運営事業を行った。

これまで実施してきた神戸ワインの製造・販売については、令和6年12月に白鶴酒造株式会社に事業譲渡した。

また、新たな事業として、令和7年4月から運営開始する水産体験学習館の指定管理者の公募に、三井不動産株式会社との共同事業体として応募し選定された。

さらには、ガバナンスの強化、法令や公社諸規程に遵守等に取り組んだ。

令和6年度は、六甲山牧場の入場者数の大幅な増加等により、経常収支では黒字を達成することが出来たが、ワイン事業の譲渡等に伴う経常外費用等を計上したことで、最終的な収支は赤字となった。

1. 里山・農村地域活性化事業

102,406,107円

農地保全活用事業、空家保全活用事業、里山資源保全活用事業、人材育成マッチング事業のほか、KOBEL里山SDGs活用支援事業、無煙炭化器による剪定枝のバイオ炭化、粉碎機を活用した竹林整備の検討を行ったほか、スマート農機活用促進事業等を行った。

- ① 農地保全活用事業では、「こうべ果樹の就農学校」を開講し、新規就農者の育成を行うとともに、休耕田等の活用による新たな担い手育成事業として、市内産野菜の給食用食材（ジャガイモ・タマネギ・ニンジン）の生産拡大をはかるため、高齢・障がい人材を活用し、こうべ給食ファーマーとして育成を行った。

こうべ果樹の就農学校 受講者9名

休耕田等の活用による新たな担い手の育成 受講者8名

- ② 空家保全活用事業では、これまでの農村定住促進コーディネーターと里山・農村版「空家おこし協力隊」の増強を行い、農村地域への移住・定住の促進に努めた。移住体験施設として、北区淡河町のヌフ松森医院および、西区押部谷町福住の古民家の運営を行った。

令和6年度 農村定住促進コーディネーター

北区1団体追加（道場町）

農村地域の移住13件、空家バンク掲載15件

福住お試し住宅10件、ヌフ松森医院18件

- ③ 里山資源活用事業では、茅場の育成等を行った。

茅場の育成 2,000㎡（山田町長尾山）

④ 人材育成マッチング事業では、起業支援としての神戸農村スタートアッププログラム、神戸ネクストファーマー制度を活用した新規就農者育成に努めた。

神戸農村スタートアッププログラム 25名受講、現地視察・セミナー計8日
ネクストファーマー 研修機関：13機関、ネクストファーマー：139名登録

⑤ K O B E里山SDG s活動支援補助金制度では、「持続可能な開発目標（SDG s）」の達成に向け、神戸の豊かな自然環境や農漁業を守り、食や暮らしを持続可能なものにしていくための、市民等からの自由な発想による活動に対し、補助を行った。

活動支援補助団体 18団体 11,689,000円

2. 施設管理運営に関する事業

1,139,588,146円

(1) 六甲山牧場（指定管理者事業）

473,940,121円

第5期2年目の指定管理者として、シンエーフーズ株式会社および六甲バター株式会社との共同事業体により、料金徴収や動物の飼育管理運営業務のほか、神戸チーズの製造販売、売店やレストラン運営等の自主事業を行った。

また、動物をメインとしたイベントの開催、ホームページやSNSを活用したタイムリーな情報発信を行った。その他、カウボーイエリア・ゴールドラッシュパークの新設やSNSフォトスポットの増設などを行うとともに、シープレースや流鏝馬等のイベントの充実を図り、令和6年度の年間入場者数は昨年度に比べ大幅に増加した。

① 六甲山牧場管理事業

212,147,913円

ア. 入場料金徴収業務

入 場 料 金 127,722,366円

入 場 者 数 313,261人

イ. 駐車場料金徴収業務

駐 車 料 金 66,300,105円

駐 車 台 数 大型車 189台

普通車 83,782台

合 計 83,971台

ウ. 但馬牛の飼育業務 12,566,364円

エ. その他 5,559,078円

② 六甲山牧場自主事業

261,792,208円

ア. 売店

収 入 金 額 160,786,620円

(内 訳)

チーズ館売店 71,888,246円

ロコロコ売店 41,219,664円

商品外販 47,678,710円

イ. テナント

収 入 金 額 33,061,648円

(内 訳)		
レストラン神戸チーズ	8,120,495 円	
レストランシープベル	4,966,963 円	
レストランデルパパ	5,751,591 円	
カウベル (北売店)	4,966,115 円	
ヒュッテ (南売店)	9,256,484 円	
ウ. チーズ製造		製造個数 15,692 個
エ. まきば夢工房体験事業		
収入金額	19,137,961 円	利用人数 19,279 人
オ. ポニー引き馬		
収入金額	14,328,009 円	利用人数 21,801 人
カ. その他		
収入金額	34,477,970 円	

(2) 平磯海づり公園 (指定管理者事業) 102,007,745 円

第5期2年目の指定管理者として、平磯海づり公園の料金徴収、釣台監視業務の他、釣り具売店の運営、活魚の販売等の自主事業を行った。

また、親子釣り教室やイベントを開催するとともに、SNSを活用したタイムリーな情報発信等を行ったが、釣り人口の減少・猛暑等の影響により、前年度を下回る集客となった。

① 海づり公園管理事業		65,466,963 円
ア. 入園料金徴収業務		
入園料金等	50,487,675 円	
入園者数	68,275 人	
イ. 駐車場料金徴収業務		
駐車料金	14,979,288 円	
駐車台数	30,495 台	
② 海づり公園自主事業		36,540,782 円
ア. 売店		
収入金額	33,716,396 円	
(内 訳)		
売店	32,025,380 円	
自動販売機	1,691,016 円	
イ. 活魚販売		
収入金額	2,200,752 円	販売尾数 1,018 尾
ウ. その他		
収入金額	623,634 円	

(3) フルーツ・フラワーパーク 361,184,696 円

施設の維持管理、園芸バイテク事業、優良苗の生産配布、花壇、果実栽培の他、売店・自動販売機、施設内テナントの運営等の業務を行った。

① フルーツ・フラワーパーク管理事業		250,552,364 円
入園者数	1,319,052 人	

② フルーツ・フラワーパーク自主事業	110,632,332 円
ア. 売店	38,415,750 円
イ. 自動販売機	2,293,130 円
ウ. テナント	24,248,497 円
エ. 果樹・園芸生産物	31,140,388 円
オ. その他	14,534,567 円

(4) 神戸ワイナリー (農業公園) 67,014,359 円

施設の維持管理、修景業務の他、バーベキュー場等の運営を行った。
 ワインまつり等のイベントの他、外部団体によるイベント等を誘致し、ワイナリーの賑わいづくりを図った。

① 農業公園管理事業	59,650,134 円
入園者数	139,313 人
② 農業公園自主事業	7,364,225 円
ア. バーベキュー場 (テナント)	4,170,650 円
イ. 軽食堂 (テナント)	1,797,223 円
ウ. 自動販売機	530,291 円
エ. その他	866,061 円

(5) 神戸市西部域漁港 75,634,440 円

兵庫区、長田区、須磨区および垂水区にある漁港等の緑地管理、清掃、道路および通路管理、監視・保安警備等の業務を行った。

(6) 栽培漁業センター 59,806,785 円

施設の維持管理の他、ヒラメ、マコガレイ、アサリ、マナマコ等の魚介類の種苗生産およびマダイ・クマエビの中間育成の他、定着性のあるキジハタ・アイナメの放流を行うとともに、栽培漁業に関する情報収集・発信等の業務を実施した。

	種苗生産数	中間育成	放流尾数
ヒラメ	262 千尾	86 千尾	224 千尾
マダイ		67 千尾	67 千尾
マコガレイ	64 千尾	50 千尾	50 千尾
アサリ	33,180 千個		33,180 千個
マナマコ		54 千個体	54 千個体
カサゴ	35 千尾	21 千尾	21 千尾
クマエビ		22 千尾	22 千尾
キジハタ			13.5 千尾
アイナメ			10 千尾
クロアワビ			1 千個
サザエ			1 千個

※マダイ、マコガレイ、クマエビの中間育成については、県配布分を含む

3. 自主事業

317,214,508 円

(1) 神戸ワイン事業

246,301,376 円

「神戸産ブドウ 100%」「安心・安全で美味しい」ワイン及びブランデーの製造・販売に取り組んだ。

なお、令和6年12月に白鶴酒造株式会社に神戸ワイン事業を譲渡した。

ワイン用ブドウ収穫量	157 t
醸造量	80 kℓ (720ml 換算で 111 千本)
販売量	140 千本 (720ml 換算)

(2) 有機関連事業

52,419,420 円

化学肥料の使用を抑え、土づくりを推進する取り組みとして、市内で生産される堆肥(家畜糞尿由来)の利用促進事業(購入支援事業・購入斡旋事業)を行った。

また、堆肥の活用を推進させるため、ペレット堆肥の製造及び市内の農業生産者等への販売を行った。

① 堆肥購入支援事業及び堆肥斡旋事業	25,668,729 円
堆肥購入支援数量	6,448 t
堆肥斡旋数量	9 t

② 堆肥ペレット化事業	26,750,691 円
ペレット堆肥販売数量	64 t
(12 kg 入り袋 : 5,356 袋、1 kg 入り袋 : 106 袋)	

(3) 駐車場管理運営事業

18,493,712 円

① 若宮駐車場	2,876,369 円
月極利用台数	792 台
② J R 道場駅前駐車場	15,617,343 円
月極利用台数	469 台
時間貸利用台数	26,462 台

4. ガバナンス強化に向けた取り組み

法令順守や企業倫理に則った適正な事業運営を行っていくため、公社内ガバナンス強化に取り組んだ。

- ・全職員への経営状況説明および常勤役員との意見交換会開催
- ・自主監査(現金・支払事務・個人情報保護等)の実施
- ・神戸農政公社ガバナンス推進本部会議開催
- ・内部監査(現金・決裁・契約書等)の実施
- ・理事会報告(令和6年度ガバナンス強化に向けた取り組み)

上記記載の他、毎月1回の部長級以上職員でのガバナンス強化に向けた会議や様々な研修を実施した。